体育学部

FACULTY OF PHYSICAL EDUCATION

アドミッション・ポリシー

1.【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生。

2.【自己表現ができる学生】
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生。

3.【新たな課題に挑む意欲のある学生】
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生。

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養(かんよう)、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

「課程」と「系」

本学は、教育目標の達成に向け、体育学部にスポーツ総合課程及び武道課程を設定し、各課程の中に3つの系（柔軟なコース）を編成し、それぞれの専門に向けた勉学ができるようにしています。

スポーツ総合課程
（定員：120名）

スポーツ総合課程の目標

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

アスリート・コーチング系
トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系
健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。

武道課程
（定員：50名）

武道課程の目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修錬形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

武道系
武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修錬形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース。

専攻科目の系の選択

①スポーツ総合課程に所属する学生は、「アスリート・コーチング系」「生涯スポーツ系」より1系以上を選択し、履修します。
②武道課程に所属する学生は、「武道系」を履修します。

課程	専攻（系）の選択 ※1	専修科目 ※2（8～18単位）	指導実践科目［スポーツ指導実習］（1科目以上）
（ ）内は単位数			
スポーツ総合課程	アスリート・コーチング系	●競技スポーツ論・実習Ⅰ（4） ●競技スポーツ論・実習Ⅱ（4） ●競技スポーツ論・実習Ⅲ（4）	スポーツ指導実践概論（1）→ スポーツコーチ実習
	生涯スポーツ系	●生涯スポーツ総論（2） ●生涯スポーツ論・演習Ⅰ（2） ●生涯スポーツ論・演習Ⅱ（2） ●生涯スポーツ論・演習Ⅲ（2）	スポーツ指導実践概論（1）→ 生涯スポーツ指導実習
武道課程	武道系	●専修武道論・実習Ⅰ（6） ●専修武道論・実習Ⅱ（6） ●専修武道論・実習Ⅲ（6）	スポーツ指導実践概論（1）→ 武道指導実習

※1）決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。
※2）各系の必修科目を示しています。
（注）選択した系以外で履修可能な他系を ----→ で示しています。

FACULTY OF PHYSICAL EDUCATION

教育課程の編成

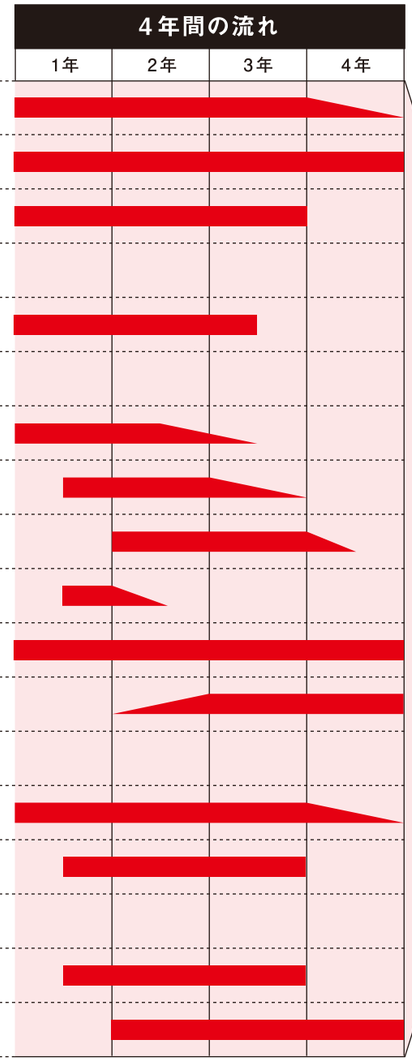
授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。
ただし、一部の科目について、通年科目（1年間履修して単位がとれる科目）となっています。

一　般　科　目	社会の一員として適切に振る舞う態度と豊かな教養、コミュニケーション能力を身につける科目
コミュニケーション科目	国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
社会・文化・自然科目	社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
総　合　科　目	社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
キャリア形成科目	スポーツリーダーとしての将来像と職業観・就業観及びキャリアデザイン力を醸成する科目
キャリアデザイン科目	スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
専　門　科　目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する専門的な知識、実技力、科学的支援力や表現的能力及び課題解決力を身につける科目
基礎科目A（人文・社会・自然系）	体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
基礎科目B（指導・普及系）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
応　用　科　目	国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
実験演習科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
関連実技科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
ゼミナール（卒業研究）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
専　攻　科　目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して年齢、目的等に応じた体系的な実技能力や事業運営力を身につける科目
専修科目（アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
指導実践科目（アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）	専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
教　職　科　目	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許状を取得するための専門（教科）及び教職に関する科目
教職	中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
専門	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門（教科）に関する科目

また、授業科目は下表のように、履修（選択）の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区　分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

2019年4月、学生が本学の教育目標やディプロマ・ポリシーを身近に意識するとともに、自身の学びの目的・目標をより明確なものにするために、“学びの極意”に関するパンフレット「鹿屋体育大学での4年間が充実する秘密の書」を作成しました。詳しくは本学HPでご確認ください。



授業時間

1. 学期と授業時間割

学年を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週（試験を課す場合は16週）にわたって行います。

	第1時限（90分）	第2時限（90分）	第3時限（90分）	第4時限（90分）	第5時限（60分）
開始	8：30	10：10	12：40	14：20	16：00
終了	10：00	11：40	14：10	15：50	17：30

前期：4月1日～9月30日
後期：10月1日～3月31日

授業は、左表のとおり行います。
集中講義や学外授業などを行うことがあります。

2. 休業日

休業日（授業を行わない日）は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

①週休日（土曜日・日曜日）及び国民の休日に関する法律に定める休日
②開学記念日（10月1日）
③夏期休業日（8月11日～9月30日）冬期休業日（12月26日～1月7日）春期休業日（3月11日～3月31日）
④その他大学が定めた日　　注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります（集中講義等）。

3. 授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。また、授業は対面形式の他、遠隔形式で実施しているものもあります。
※情報活用能力の育成等のため、タブレットコンピューターを必携としております。

SEMINAR

ゼミナール

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3.4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から３つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 ｜ 竹中 健太郎ゼミ ｜ 剣道の競技性と文化性の追求

剣道は、生死を賭けた闘争技術から発祥し、長い歴史の中で伝統武道の一つとして現代の形態に発展してきました。近年、大会の隆盛により競技化が加速している中、何とか剣道は競技性と文化性が共存し、そのバランスを保ちながら歩み進んでいます。武道課程を有する本学で剣道を専攻する学生は、武道文化としての剣道の理解度を深めるとともに、その実践力を高め、後世に伝承する使命が課せられています。当ゼミでは、理論学習と実技実習を両輪とし、日本の伝統的な身体運動文化が競技化された現代の剣道について、「競技力の向上」あるいは「効果的な指導法」を剣道の歴史、剣道形、審判法、指導法を通じて実践的な検討・研究を行っています。

茅根 大裕さん（土浦日本大学高等学校出身・茨城）

私は剣道の競技性と文化性の両面を学ぶため、このゼミを選択しました。先生は指導面だけでなく、競技者としても輝かしい実績をお持ちで、私の剣道に対する価値観や考え方は大きく変わりました。競技者として全国トップを目指す学生が稽古や討論を行う中で、お互いを高め合える環境が整っています。身に付けた剣道の専門的な知識と技能により、自分の剣道をさらに高め、指導者としても剣道のすばらしさを伝えたいと考えています。将来を見据えた剣道の実践力を高めることができる最高のゼミです！

スポーツ生命科学系 ｜ 藤田 英二ゼミ ｜ 中高齢者の健康づくりからスポーツ外傷・障害予防までを幅広く！

私たちのゼミでは、特に中高齢者を対象としたノルディックウォーキングや自身の体重を負荷に利用したレジスタンストレーニングなどの効果、ならびにスポーツ選手、特に柔道選手を中心としたアスレティックトレーニングに関する研究を中心に取り組んでいます。一見、それぞれは関係なさそうに感じますが、運動の効果とリスクを理解し、それぞれの対象に応じた運動処方プランを立て、正しく効果的に行わせ、それら運動の効果をきちんと評価するという一連の流れは、幅広い対象に対する運動処方という点で一致すると考えています。「どのような対象にも、根拠と自信を持って運動・トレーニング指導が出来る」そのような人材の育成を目指しています。

松西 夢紀さん（愛媛県立三島高等学校出身・愛媛）

私は柔道選手として自身が成長するため、また将来指導者を目指す者として、広い視野を学びたいと思い、このゼミを選びました。卒業研究は、小学生女子柔道強化選手の体力測定値をまとめることで、今後のタレント発掘事業に役立つ指標を示すことを目的として取り組みました。ゼミを通して、これまではなんとなく感じていたことを論理的に理解できる楽しさを覚え、他者にわかりやすく伝えるために試行錯誤する大切さを学ぶことができました。これからは指導者として、この経験を子どもたちの成長のために活かしていくとともに、自らの学びもより深めていきたいです。

スポーツ人文・応用社会科学系 ｜ 栫 ちか子ゼミ ｜ 楽しい保健体育の授業づくりを考える

私たちのゼミでは、保健体育教師に必要な授業設計力や教授技術、そして高い実践的指導力をもった教員の育成を目指し、保健体育の授業づくりについて研究しています。学校の体育実技の授業では、運動が得意な生徒ばかりではなく、運動が苦手・嫌いといった生徒もいます。運動習慣の二極化も課題となっている今、様々な背景をもった生徒それぞれが、各自の課題解決に向け、主体的に運動に親しめる楽しい体育授業とはどのようなものでしょうか。ゼミのメンバーでディスカッションを行ったり、関連の書籍や論文を読み込んでみたり、教師役と生徒役に分かれて模擬授業を実施するなどして、魅力ある保健体育教師を目指して、日々研鑽を重ねています。

遠矢 浩人さん（鹿児島県立明桜館高等学校出身・鹿児島）

私は同じ教員を志す仲間と高め合い教員採用試験に合格したい、教員になる上での資質・能力を身につけたいという思いでこのゼミを選びました。学習指導要領の内容理解や集団討論により、試験に向けた準備やより良い教員とは何か、良い授業とは何かについて研究しています。ゼミの仲間と熱く討論することで考えも深まり、自分自身にとってとてもプラスになります。このゼミで学んだことは将来の教員生活で、授業づくり、学校現場での課題・問題解決において必ず活かせると信じています。

CURRICULUM・CAPACITY

開設科目

※は外国人留学生対象科目

一般科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
コミュニケーション科目	総合英語Ⅰ	1～4	コミュニケーション科目	中国語	1	社会・文化・自然科目	日本文化論	1
	総合英語Ⅱ	1～4		韓国語	1		異文化理解	3
	総合英語Ⅲ（コミュニケーションのための英文法）	1～4		国語・文章表現法	1		生物化学論	4
	総合英語Ⅲ（英語多読・多聴）	1～4		ドイツ語	1		身体科学論	1
	総合英語Ⅲ（健康とスポーツ関連の英語）	1～4		フランス語	1		環境論	3
	総合英語Ⅳ（アクティブリーディング）	1～4		日本語演習Ⅰ	1		社会にでるための経済学	3
	総合英語Ⅳ（スポーツ英語）	1～4		日本語演習Ⅱ	2		バイオメカニクスを学ぶための物理数学	1
	総合英語Ⅳ（日常会話）	1～4	社会・文化・自然科目	日本事情	1	総合科目	総合演習Ａ	1
	総合英語Ⅳ（プレゼンテーション入門）	1～4		現代日本事情	2		総合演習Ｂ	3
	総合英語Ⅴ（Q＆Aのテクニック）	1～4		各国文化研究	1～4		情報処理Ａ	1
	総合英語Ⅴ（海外留学）	1～4		倫理・哲学	1		情報処理Ｂ	2
	総合英語Ⅴ（アクティブコミュニケーション）	1～4		人権論	1		情報処理Ｃ	3
	総合英語Ⅵ（オリンピック）	1～4		ジェンダー論	1		プレゼンテーション・討論Ⅰ	2
	総合英語Ⅵ（異文化コミュニケーション）	1～4		歴史学	2		プレゼンテーション・討論Ⅱ	3
	総合英語Ⅶ（海外で暮らす）	1～4		社会学	2		交流リベラルアーツ	1～4
	総合英語Ⅶ（実践プレゼンテーション）	1～4		日本国憲法	1			

キャリア形成科目

キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅠ	1	キャリアデザイン科目	キャリアコミュニケーション	3	キャリアデザイン科目	キャリア対策セミナー（一般企業）	3
	キャリアデザインⅡ	1		企業実習１週	2～3		キャリア対策セミナー（公務員）	3
	キャリアデザインⅢ	2		企業実習２週	2～3		ボランティア活動	1～4
	キャリアセミナー	3		キャリア対策セミナー（教員）	3			

専門科目

基礎科目	A	解剖生理学	1	応用科目	スポーツ文化論	2	関連実技科目	卓球①	1
		体育学概論	1		スポーツトレーニング実践論	3		卓球②	3
		体育・スポーツ史	1		スポーツ政策論	3		バドミントン	3
		健康教育学	1		武道文化論	3		ソフトボール①	2
		運動生理学	1		身体発育発達・老化論	2		ソフトボール②	3
		スポーツ栄養学	2		スポーツ戦術実践論	3		ダンス	3
		スポーツ社会学	2		スポーツ調査法	3		柔道	1
		スポーツマネジメント概論	2		スポーツビジネス論	3		剣道	1
		生涯スポーツ学概論	1		体育・スポーツ統計学	3		エアロビックダンス①	1
		スポーツ心理学	1		スポーツマーケティング論	3		エアロビックダンス②	4
		バイオメカニクス	2		運動処方論	3		ジョギング&ウォーキング	3
		衛生学・公衆衛生学	2		応用スポーツ心理学	3		生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1
		スポーツ医学	3		イベント管理学概論	3		アウトドアスポーツ実習（夏季）	2
	B	救急処置論・実習	2		ヘルスプロモーション論・実習	3		アウトドアスポーツ実習（冬季）	2
		トレーニング科学概論	2		スポーツ国際開発論	2		海洋スポーツ	2
		スポーツメンタルトレーニング論	2		スポーツパフォーマンス研究論	3		ラグビー①	1
		運動学概論	2		救急法実習	1～4		ラグビー②	2
		学校保健	2	実験演習科目	体育学実験Ⅰ（運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学）	1		ゴルフ	4
		スポーツと法	3					なぎなた	4
		コーチ学概論	2					相撲	2
		障がい者スポーツ論	3		体育学実験Ⅱ（運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学）	2		弓道①	2
		武道学概論	1					弓道②	3
応用科目		コンディショニング論・実習	2					野外活動	2
		生涯スポーツ実践論	3	実技科目	陸上・体操・水泳	3		体力トレーニング	1
		武道史	2	関連	バスケットボール	1	ゼミナール	ゼミナールⅠ	2
		運動生化学	2		サッカー	1		ゼミナールⅡ	3
		アスレチックトレーナー論	3		バレーボール①	3		ゼミナールⅢ	4
		アスレチックトレーナー実習	4		バレーボール②	4		卒業研究	4
		スポーツ産業論	2		テニス	2			

専攻科目

区分		授業科目名		履修年次	区分	授業科目名		履修年次	区分	授業科目名		履修年次	区分	授業科目名	履修年次
専修科目	アスリート・コーチング系	競技スポーツ論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	陸上競技	1～4	専修科目	競技スポーツ論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	海洋スポーツ	1～4	専修科目	生涯スポーツ系	生涯スポーツ論・演習Ⅰ、Ⅱ	健康・体力論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3	指導実践科目	スポーツ指導実践概論	1
			水泳	1～4			自転車競技	1～4							スポーツ指導実習 スポーツコーチ実習	3
			体操競技	1～4			野球	1～4				野外教育論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3			
			バレーボール	1～4		生涯スポーツ学総論		2							生涯スポーツ指導実習	3
			バスケットボール	1～4		生涯スポーツ論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	コミュニティ・マネジメント論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3		武道系	専修武道論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	柔道	1～4		武道指導実習	3
			サッカー	1～4								剣道	1～4		SCO-OP実習	3～4
			テニス	1～4												

教職科目

区分		授業科目名	履修年次	区分		授業科目名	履修年次	区分		授業科目名	履修年次	区分		授業科目名	履修年次
教職科目	教職	教師論	1	教職科目	教職	特別活動論	3	教職科目	教職	生徒・進路指導論	3	教職科目	専門	保健体育科教育法Ⅲ	3
		教育心理学	2			教育方法・技術	2			教育相談・カウンセリング論	3			保健体育科教育法Ⅳ	3
		特別支援教育	1			学校と教育の歴史	1			教育課程論	2			教育実習Ⅰ	4
		道徳の理論と指導法	3			教育法・教育行政	2		専門	保健体育科教育法Ⅰ	2			教育実習Ⅱ	4
		総合的な学習の時間の指導法	3			介護等体験	2			保健体育科教育法Ⅱ	2			教職実践演習（中・高）	4

取得可能な資格

[1] 本学で取得できる教育職員免許状 ●中学校教諭一種免許状 ●高等学校教員一種免許状 ※本学の授業科目の履修によって取得することができます。

[2] 本学で取得できる資格・受験資格等

[スポーツ指導基礎資格]●スポーツリーダー **[競技別指導者資格]**●コーチ１●コーチ３●教師 **[フィットネス資格]**●ジュニアスポーツ指導員●スポーツプログラマー **[マネジメント資格]**●アシスタントマネージャー **[各種加盟団体等の資格]**●日本サッカー協会公認Ｃ級コーチ●全日本剣道連盟公認社会体育指導員（初級） **[健康運動実践指導者]**●健康運動実践指導者 **[健康運動指導士]**●健康運動指導士 **[その他の資格等]**●イベント検定●レクリエーション・インストラクター●レクリエーション・コーディネーター

※資格取得のためには、本来は各種加盟団体が実施する講習会を受講し、検定試験に合格しなければなりませんが、本学は課程認定を受けていることから、指導者資格ごとに指定された本学の授業科目を履修すれば、講習会の一部が免除されます。

横山 真奈

体育学部 スポーツ総合課程 3年

YOKOYAMA Mana

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

一番は、鹿屋体育大学のチームでバレーボールで日本一を取りたかったからです！また、私の地元が近く、九州からあまり出たくないというのもあります。

Q2：今頑張っていること、目標は？

部活のことでの目標は、日本一になること。その他の目標は、自分の目標に向かって勉強することです。

Q3：好きな授業はなんですか？

社会学が好きです。スポーツと経済について学んだり、今までスポーツをしてきただけの自分が、スポーツがどれだけ社会を動かしているとか学べてとても面白いと思ったからです。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は、自然に溢れていて、スポーツ、勉学に集中できる最高な場所です。私は、鹿屋体育大学にきて良かったと思っています。みなさんも一緒にスポーツに勉学に頑張りましょう！！

私の時間割＜2年前期＞

	月	火	水	木	金
1限	運動生化学	スポーツ社会学	スポーツ経営・管理学概論		
2限	海洋スポーツ①		保健体育科教育法Ⅰ	衛生学・公衆衛生学	
3限		英語コミュニケーションⅡ			競技スポーツ論・実習Ⅱバレーボール
4限	救急処置論・実習		スポーツカウンセリング論		
5限	救急処置論・実習		総合演習D		

集中講義：特別支援教育①、総合的な学習の時間の指導法

■平成31年度入学（AO入試） ■宮崎日本大学高等学校出身・宮崎

安次嶺 心

体育学部 武道課程 3年

ASHIMINE Kokoro

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

きっかけは尊敬する先輩方が在籍していることからです。体育について多方面から学ぶことができ、また自然豊かな鹿屋市で集中して競技に取り組めると思い、鹿屋体育大学を選びました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

課外活動のなぎなた競技です。コロナの影響で昨年度の大会が全てなくなってしまったので、今年こそはインカレで優勝できるよう２年分の想いを込めて取り組んでいます。

Q3：好きな授業はなんですか？

楽しい授業はたくさんありますが、特に心理学やマーケティングに関する授業が好きです。授業を通して日常や競技生活の視点を変えるきっかけになったり、スポーツに対する視野を広げることができます。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

勉学、競技に対する向上心がある人には最適な場所です！研究施設も充実していて、専門的な先生方が丁寧にご指導して下さいます。また、様々な競技の学生からたくさん刺激がもらえます。この鹿屋の地で目標に向かって共に頑張っていきましょう！

私の時間割＜1年前期＞

	月	火	水	木	金
1限			体育・スポーツ哲学と倫理	体育・スポーツ史	情報処理A③
2限		解剖生理学	生物化学論	キャリアデザインⅠ	
3限	英語Ⅰ	サッカー①	身体科学論		専修武道論・実習Ⅰ剣道
4限	剣道①		健康教育学		
5限					

集中講義：教師論①

■平成31年度入学（推薦入試） ■沖縄県立首里高等学校出身・沖縄

石原 大地

体育学部 スポーツ総合課程 3年

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

体育・スポーツを学ぶことのできる大学を考えていて、国立大学で唯一の体育大学という点、施設が充実している点に惹かれました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

特に部活（サッカー）を頑張っています！チームとしては九州社会人リーグ優勝、個人としては一つでも多くの試合に出ることを目標にしています！

Q3：好きな授業はなんですか？

体育学実験です。他の大学ではできない、フォースプレートを使って自分の走りをデータ化して分析することなどができます。その他の運動に関しても最新の機器を使用して分析ができるのでとても魅力的な授業だと思います！

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

スポーツに勉強に集中できる環境が揃っていると思います。体育・スポーツの分野に夢や目標を持っている皆さん、鹿屋体育大学で一緒に頑張っていきましょう！

ISHIHARA Daichi

私の時間割＜２年後期＞

	月	火	水	木	金
１限	道徳の理論と指導法	歴史学（1・8週）社会学（9・16週）	保健体育科教育法Ⅱ		アスレチックリハビリテーション論
２限	教育心理学	情報処理B①	学校保健	トレーニング科学概論	スポーツ産業論
３限	ソフトボール②	英語Ⅱ	運動学概論（1・8週）コーチ学概論（9・16週）		競技スポーツ論・実習Ⅱ サッカー
４限	教育方法・技術			特別活動論（1・8週）キャリアデザインⅢ（9・16週）	
５限					

■平成31年度入学（一般入試）　■東京都立国分寺高等学校出身・東京

升方 美優

体育学部 スポーツ総合課程 4年

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

鹿屋に入学する前から、アメリカの大学院のAthletic TrainingProgramへ留学したいと思っており、運動生理学や栄養学などアスレティックトレーナーに必要な基礎的な知識を身につけるために、本学への編入を決めました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

現在は、本学の授業に関する勉強に加え、部活動やTOEFL対策に取り組んでいます。目標は、卒業後志望する大学院のProgramに入学することです！

Q3：好きな授業はなんですか？

関連実技の授業です。弓道など今までやったことのないスポーツや運動も経験できます。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

自然豊かな環境で勉学や部活動に励むことができます。スポーツに関することを学びたい人や競技を継続・向上させたい人には最高の環境だと思います。鹿屋への入学を目指しておられる方は、ぜひお越しください！

MASUKATA Miyu

私の時間割＜３年後期＞

	月	火	水	木	金
１限	スポーツ栄養学	スポーツ指導実践概論（1・8週）			運動生理学
２限		スポーツ心理学	身体発育発達論	トレーニング科学概論	スポーツ産業論
３限	体力トレーニング		体育学実験Ⅰ	弓道①	競技スポーツ論・実習Ⅱ バスケットボール
４限		ジョギング＆ウォーキング	施設・用具・プログラム論①		
５限			体育学実験Ⅰ		

集中講義：ゼミナールⅡ

■令和２年度入学（第３年次編入）　■富山高等専門学校出身・富山